

令和元年度 医工連携マッチング会の開催について

令和元年10月2日（水）の16時半より、鹿児島県産業立地課主催による「医工連携マッチング会」を開催いたしました。参加頂きました方々は、認定看護管理教育課程ファーストレベル受講生の20名の皆様でした。参加企業は、4社で医療機器メーカー、ソフトウェア開発会社、枕等の企画開発製造会社、介護アシスト装置開発会社でした。また、鹿児島大学産学・地域共創センターの産学官連携コーディネーター、かごしま産業支援センターの産学官連携係長も出席頂きました。

マッチング会に向けては、事前に「困り事」「あったら助かる製品」の項目で、アンケートに答えて頂きました。それらの困り事に対し、企業の方々から内容の確認がありました。具体的なものに、「転倒・転落防止マットの工夫」「内視鏡検査時の屈曲した下肢を支える枕」「高齢者の上肢・下肢の皮下出血防止のためのアーム・レッグカバー」などが挙がり、企業側との意見交換ができました。



今後は、要望のあった施設に再度、県産業立地課から聞き取り等が行われ、対応可能か検討されます。ご参加頂きました、ファーストレベル研修生の皆様、各企業の方々、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

なお、本会で実習中の鹿児島大学大学院保健学研究科博士前期課程助産学コースの4名の方々も参加されました。

最後に、より実用的な製品の開発にはアイデアだけでなく、時間を要し、形となっていくものは希なことかもしれません。それでも、看護の現場の困り事が県内の企業とのコラボにより、何か新たなものが生み出されることは重要なことと思います。形になっていくことを期待したいと思います。ありがとうございました。

公益社団法人鹿児島県看護協会 会長 田畑千穂子